

唯心山

唯心山は高さ 6m の人工の丘で、1686 年から 1700 年にかけて後樂園を造営した池田綱政の息子継政が作らせたものです。平坦な後樂園内に立体的な趣きを添える唯心山は園内の中央部にあり、流店のすぐ隣で沢の池を見下ろすように位置しています。後樂園のほぼ全域から見える位置にあります。

沢の池に面した唯心山の北側には、紅白のツツジをはじめとする色とりどりの植物が植えられています。東側の斜面にある岩は滝の流れをイメージした綿密な配置になっており、頂上から見ても麓から見ても印象的な光景を作り出しています。

ゴツゴツした岩が敷き詰められた東側の小道は山道をイメージしたもので、滑らかな石が並ぶ北側とのコントラストを演出。東側にある唯心堂では腰を下ろして一休みできます。